

・前回までのまとめ

- ・各種の正義論をやることの意味： 社会問題への多面的なアプローチ
- ・「法」にどのようにつながるのかをつねに考える

・今日のテーマ： 「自由」とは何か

- ・様々な意味で使っている「自由」という言葉を整理してみよう
- ・[実益] 各種の「自由権」を主張するにあたって、何を守るのかが明確になる

1. 自由の概念分析

- ・英語でいう場合の違い。
- ・他の様々な概念と比較してみよう。

【問】 次の各状況に置かれた A さんが「私は自由ではない」と言ったとき、それは「自由／不自由」という言葉の使い方として適切かどうか（○×）、適切でないとしたらそれは別の何の問題か、考えるところを述べてください。

1. 強盗に銃を突きつけられているので、動けない。
2. 人を殺したいが、刑罰が怖いのでできない。
3. お金がないので、高級レストランで食事ができない。
4. ベンチに変なでっぱりがあるので、眠れない。
5. 翼がないので、空が飛べない。

2. 自由そのものに何かの価値があるのか

【問】 選択肢が多ければ、「より自由」といえるか？

- ・よくある例「信号機の少ないアルバニアは、イギリスより自由か？」
- ・アイザイア・バーリン『自由論』： 消極的自由と積極的自由
- ・ホブズ、ロック的自由から、カント、ルソー、ヘーゲルへ： 邪悪な滑り坂
 - ・「説得定義」の問題： すてきな言葉はやがてズレていく
- ・スタイナー『権利論』の純粹消極的自由： 自由量保存の法則！
- ・「自由意志」は本当にあるのか問題（リヴェットの実験） → 刑法の責任は変わる？

3. 自由の論じ方

- ・憲法上の様々な「自由権」を主張するとき、そこで何が主張されているのか？
 - 例：ダンス規制問題、あいちトリエンナーレ「表現の不自由」展
 - ほか、微妙な例を考えて出してみてください。
- ・自由よりも幸せなものはたくさんある？
 - ・アーキテクチャと自由： LINE での表現は「自由」なのか？
 - 無意識のうちに蝕まれる「自由」は（どのように）問題にすべきものなのか
- ・自由よりも幸福、便利さという風潮にどう対抗するか（しなくてよいのか）
 - 例）中国の「デジタル・レーニン主義」はうまくいくのか？
 - いかないとしたら、何が問題か？